

別記  
第1号様式（第14条関係）

### 環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	平成29年 7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都江東区有明三丁目7番18号 有明セントラルタワー8階	大和リゾート株式会社 代表取締役社長 柴山 良成
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	大和ハウスグループ 中期環境行動計画「エントレスクリーンアッププログラム2018」
適 用 範 囲	大和ハウスグループ 全社
導 入 年 月 日	平成28年 4月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	環境行動計画 4つの環境重点テーマ（社会課題） ・地球温暖化防止 ・自然環境との調和（生物多様性保全） ・資源保護+水資源保護 ・化学物質による汚染の防止+土壌汚染防止
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	大和ハウスグループ 2018年度目標 ・売上高当りCO2排出量：▲55%（2005年度比） ・CO2排出量（再生可能エネルギー相殺後）：▲35%（同比） ・購入電力に対する再生可能エネルギー発電割合：60% ・CO2削減貢献量：470万t-CO2
目標を達成するための取組の内容	・全社的にBEMS導入によるホテル館内のエネルギーフロー、消費、ロス、コスト全貌のリアルタイム把握 ・照明のLED化 ・重油焚空調熱源および給湯熱源の空冷ヒートポンプ化による重油使用量削減を計画 ・遊休地の太陽光発電パネル設置、ホテル館内節水機器の設置、
目標を達成するための取組の進捗状況	・BEMS導入に向けて計画推進（平成30年度以降予定） ・改装工事実施範囲ごとに照明器具LED化、誘導灯LED化を順次実施 ・リニューアル工事、老朽箇所更新入替工事に合わせ、順次トップランナー型変圧器、空冷ヒートポンプチラー等への入替
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	天橋立宮津ロイヤルホテルの二酸化炭素総排出量前年度比14.5%削減。 原単位当り排出量は前年度比で9.7%削減。 これまで重油を焚いていた空調熱源を空冷ヒートポンプチラーに入換えたことにより電力消費量はわずかに増えたが重油消費量が大きく削減できた。今後の計画では運営改善だけでなく省エネ改修を加速させることが必要である。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について法定の点検周期毎の点検作業の実施、報告書提出を行っている。これまで違反および行政当局からの指摘は無かった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	半期毎に進捗確認を行い、年度毎に実績評価を行い、その結果により次年度の計画を作成している。 当マネジメントシステムは2015年度を最終目標年度としており、引続き、基本方針に従った活動を行う。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。